

【卒業生】2024年度 大学「学習成果に関わる外部評価—学位プログラムの学修評価を把握するための卒業生調査—」回答

2024. 8. 5

回答者

服飾学科

服飾学科からはモードは人数が多いので2名他のコースは各1名ずつ7名に回答していただきました。

服飾表現学科

服飾表現学科は4専攻から卒業生1名ずつ4名に回答していただきました。

合計で卒業生は11名の参加となります。

質問回答

1. 自己紹介（業務内容）

①・パターン、トワル縫製、縫い代付け、グレーディング、仕様書作成、サンプル作成等のパタンナー業務全般。デザイナーがドレーピングで制作した型をパターン化、トワル縫製。その後フィッティングと修正を数回行い、縫い代付け、縫製仕様書を作成、工場にサンプル作成依頼。サンプル作成後、展示会、ルック・EC用撮影。工場とやり取りしながら適切な縫製使用等を考え量産修正、グレーディング、量産工場出しまで行います。（まだ1型しか経験しておりませんが、）新作の型出し業務。自身が所属するブランドは主に立体裁断を用いて制作しています。1から作るものもあれば、過去型からアレンジするものもあります

②店舗運営業務、接客

③CAD データや工場で使用する生産指示書の作成。

④カーテン生地デザイナーをしています。

問屋からの要望に沿って商品を開発しています。また、商品提案用のオリジナル生地を作成や、自社のブランドがあるので自社ブランド用の商品も開発しています。展示会や取引先の方にお話を伺うなどして市場調査もしています。

⑤【前職】

女性下着の企画1年・広告代理店でのグラフィックデザイナー5年・2019年 エンスカイ入社
→ジブリ、ドラえもんの雑貨（文房具、ポーチ、タオルなど）などの企画を担当。

2021年 ゲーム・パズル部署異動→ポケモン、miffy、すみっコぐらし、ジャンプキャラクターなどのキャラクターのトランプやリバーシゲーム、パズルなどの企画を担当。

2022年 産・育休取得後、雑貨の企画部署へ復職→ジブリ、任天堂キャラクター、お文具といっしょ、カービィなどの雑貨企画を担当。

*業務内容：キャラクター雑貨の企画考案、デザイン、生産管理。店舗にリサーチなどに行き、売れそうな商品を探し版權元に企画提案。企画が通ったら、仕様やコストを工場・協力メーカーと固めていく。版權元にデザイン、サンプル監修を提出し、了承を得たら商品発売へ。その後の商品撮影や各所広報なども企画がやります。その他には、イベント（ギフトショー、おもちゃショー、アーティストライブグッズ、ジャンプフェスタ）なども多く行なっている企業です。

⑥現在は店頭にてドレッサーとして勤務。約1年半後には本社にて勤務する予定。

⑦プロモーションの企画立案・進行、SNS運用等

⑧化粧品の接客販売、それに伴うタッチアップサービス

⑨販売

⑩*業務内容：企業説明会や就活サイトの運用を行っている。

⑪株式会社無限 撮影課 商品管理・進行管理

2022年10月よりアルバイトとして入社。

2023年4月より正社員として入社。

2024年6月末退職。

*業務内容：山口県に本社を置く。大手アパレル企業のチラシ制作を主軸に、広告制作や商品撮影等を請け負うデザイン会社。総従業員数は現在30名程。商品管理・進行管理の部署では、毎週のチラシ制作の商品撮影業務の進行管理、取引先から預かるアパレル商品サンプルの管理、運用を行う。保持状況や使用状況等をExcel上でデータ管理する。商品サンプルは、だいたい商品の発売の半年前くらいから送られてくる。商品カテゴリーごとに段ボールにいれ、保管する。チラシ撮影時は、デザイン制作部署の誌面担当者の指示のもと、指定の商品を用意し、撮影部署で撮影を行う

2. 大学の授業について

*役立った授業と内容

*授業科目名の内容として不足していて具体的に欲しかった内容や授業内容についての意見

*今後必要と思われる授業名と内容

① *役立った授業と内容

ドレーピング&パターンメイキング：立体裁断によって制作の幅が広がり、平面図形の理解もより深まりました。入社後、再三再四「感覚で覚えて」と言われます。例えば袖を製図する際、【基準線を何本も書いて、そこにぶつかるカーブを書く】これが学生時代当たり前のやり方だと思っていますが、会社では（とてもざっくりとした説明ですが）袖山は寸法だけ気にしてあとは基準など取らずにフリーでラインを書いています。こういった時に、ドレーピング&パターンメイキングの授業で、どうしてこの線になるのかなど、立体を通して平面図形への理解を深めたことがとても活きていると感じます。また、入社してから、モデルフィッティングを行い、モデルに着せた状態で修正を行うため、人体に沿わせた布の流れの感覚などを掴んでおくことはとても重要なことだと実感しています。

*授業科目の内容として不足していて具体的に授業を受けたかった科目や授業内容についての

意見

CAD パターンメイキング：オンラインで zoom での受講でした。その影響がとても大きいと思いますが、授業で学んでいる時は正直全く CAD の使い方がわからなかったです...個人のブランドを除けば、どの会社でも CAD は必須で使用しているようです。縫製工場の中にはデータのみ受け付けており、手引きパターンは NG の所もあります。その為、CAD のスキルは、パタンナー業務の中では必須。ブランドを立ち上げるという人にも必須なスキルになってくるかと思います。外部にパターン依頼して制作したり、生産管理に就いてもデータでのやり取りが発生するのもあります。ヨウジヤマモト社のブランドでも、メンズのラインはほぼほぼ 1 から CAD で作図、レディースラインは手引きが主ですが、その後 CAD でトレースしてデータ化するという流れです。授業の時間内だけでは、使いこなすのはなかなか難しいと思います。自分自身、会社で 1 から教えてもらい実践の中で覚えていったので、実際に CAD を用いて制作（製図から縫い代つけるなど一連の流れを経験する）などできれば良いのかなと思います。

*今後必要と思われる授業名と内容

学外の人と関わる機会があれば良いと思います。講演会や、ゼミ形式のワークショップなど。

自分自身、学生時代のインターンの経験の中で業界で働いている人の話を聞いたり、実際の現場を見ることで、様々な職や働き方があることを知りました。ヘアメイクをやりながら 3DCG を扱ったり、スタイリストとエディター、モデルとビデオディレクター、デザイナーとパタンナー・グラフィックデザイナーなど、主軸の仕事と別に得意分野があり仕事の幅を広げているという人に多く出会いました。コロナ禍の現場での人数制限や、リアルでのコミュニティが狭まった中では、こういった何か別の分野ができることが、とても重宝されたということを知りました。

こういったことを学生時代に知る機会があれば、学生自身のモチベーションや、新たに学びたいと思うことが明確になったりと、卒業後の目標や将来のビジョンをより広く考えられるようになるのではと考えます。また、そういった経験の中で他の学校や同世代と関わりを持つことで刺激になるし、自分の作品と一緒に作る仲間になったりもすることもあります。

② *役立った授業と内容...アパレル素材論、染色化学

それぞれの生地が持つ特徴を学んだことはアパレル販売員としても接客に活かすことができた。

*授業科目の内容として不足していて具体的に授業を受けたかった科目や授業内容についての意見...グラフィックデザイン

Photoshop を使ってより様々なデザインができると良い。

*今後必要と思われる授業名と内容

店舗開発マネジメント論

利益の出る店舗にするには具体的にどんなことが必要か。

③*役立った授業と内容

専門科目が主に役に立ったと感じています。コース必修の「感性産業デザイン」や「インダストリアルパターン」ではパターンへの理解や縫製スキルが身に付き、「感性産業 CAD」では CAD スキルが身に付き、パタンナーを目指すには必要不可欠な内容の科目だと思います。また、「アパレル素材論」で学んだ生地に関する知識や、「CG デザイン」「ファッション画 (CG)」「写真表現演習」等で学んだ Photoshop や Illustrator は仕事でも扱っており、採用の必須スキルではありません。

んでしたが、現在役立っています。

*授業科目の内容として不足していて具体的に授業を受けたかった科目や授業内容についての意見…コロナ禍で仕方がないとも言えますが、パターン検定2級の勉強はあまり授業でできなかったため、三年次の授業で学べたら良かったと思います。三年次の「感性産業CAD」ではパターンメイキングの実践を積み、自由制作をすることで、二年次に比べてパターンメイキングのスキルは身に付いたと感じましたが、数値通りに動かすことが多く、もう少し理論的なことを学べたらと思いました。また原型からの展開で体にフィットしたアイテムを作ることが多かったため、流行しているようなゆとりの多いアイテムなども引けたらと良かったと思いました。

*今後必要と思われる授業名と内容

「アイテム企画・製作」世の中に流通している製品をリサーチし、予算組や販売戦略も含め企画から生産までの一連の流れを考えた上で、実際に売れるようなものを製作する。

④ *役立った授業と内容

どの授業も色々な場面で役に立っているとは感じますが、特に役に立った授業は、

・素材設計論（私の時は土岐先生の授業）が実際の業務内容を網羅していたかと思います。授業はアナログの手描きでデザインすることが多かったのですが、それをそのままデジタルでやっている、という感じです。また、テキスタイルの柄のリポートなどはこの授業で習っていたのでデザインの作り方にはあまり苦労しませんでした。

・ダイニングテクニック、卒業制作

自分で手を動かして作品を制作していたので、織組織のことや緯糸と縦糸が交わることによる色の見え方など分かるようになってよかったです。また、手のひらサイズの作品の学内コンペ、卒業制作ではデザインの構想の仕方や、サンプルから納得いくまで作り直す力がついたと思います。カーテンはアパレルと違って（アパレルは数週間で納品など聞いたのですが）納得の行くまで作り直せる時間があることが多いので諦めず、こだわる力をつけられたかと思います。

*授業科目の内容として不足していて具体的に授業を受けたかった科目や授業内容についての意見…プレゼンや意見交換の場が少なく、自分だけで作る授業が多かったと思います。

実際は、一人の意見だけで商品を作ることはないのでグループワークなどがあると良いです。

*今後必要と思われる授業名と内容

上記のものと同じです。

⑤ *役立った授業と内容

・ファッション画

・Illustrator、Photoshopを使用した小泉先生の授業

・3年生のコースの課題制作…市場調査やコンセプト決め、自分の作成した作品のプレゼン発表（ポスター作成、ターゲット）これは今の企画職の内容と似ていて、経験できてよかったなと思います。

*授業科目の内容として不足していて具体的に授業を受けたかった科目や授業内容についての意見

・私はデザインが好きで、卒業後ずっとデザインに携わる仕事をしてきましたがどの仕事もIllustrator、Photoshopは必須で授業は3年生から（コースによる）始まったが、1年生からあっ

でもよかったなと思います。・Office系のソフトも仕事で使う機会が多く、他の大学では授業でオフィス系ソフトを使う機会があったようですが、私は社会人になるまでほとんど触ったことがなく、全く使えず苦戦した記憶があります。

*今後必要と思われる授業名と内容

・最低限のPCスキルの授業 (Illustrator、Photoshop、Excel、word、PowerPoint) 上記を使った課題制作のプレゼン資料作りなど

・ポートフォリオ作成、プレゼン練習

デザイン系の会社選考時は必ずポートフォリオでの選考があり卒業時や進級時にこの1年で自分がやったことをポートフォリオにまとめて自己PRを発表する授業があったらいいなと思いました。

就職活動対策の授業が少なかった印象です。

⑥ *役立つ授業と内容

産学連携プロジェクト

企業様と私達学生で連携してビジネスに取り組むことで、付加価値のある体験が味わえる講義。

*授業科目の内容として不足していて具体的に授業を受けたかった科目や授業内容についての意見

コロナによりオンラインとなってしまった授業全般。

*今後必要と思われる授業名と内容

企業会計入門 (正しい講義名は忘れた)。就職してから何かと数字を取り扱う機会が多いから。

⑦ ・流通イノベーションゼミ I・II・・・学生の頃から実際に自分たちでECサイトを運営したという経験は就職活動時に大きなアピールポイントになったかと思います。

・情報演習II・・・Photoshopやillustratorの初歩的な知識を身につけることができました。

*授業科目の内容として不足していて具体的に授業を受けたかった科目や授業内容についての意見

Googleアナリティクスを実際に自分たちで活用できるよう活用方法・見方を長期的にレクチャー頂ける授業

ビジネス系 (マーケティング) は特に必要かと感じます。

*今後必要と思われる授業名と内容

「流通イノベーションゼミ I」・・・自分たちで実際にECを運営することができる。Google Analyticsによる分析・振り返り (1回では少ないと感じるが)

⑧ ・役立つ授業と内容

メイクブランドで勤務している為、縫製以外の学びは仕事に役立っています。

特に、色彩演習や衣装デザインの授業は、色を取り扱う上で基礎的な考えを作ることができ、ブランドの色についての考えを読み取り、それをメイクで提案するという仕事に生かしています。リップだけでもたくさん色があり、その中からお客様の要望や似合う色を探さなければならぬのですが、人気色に偏ることが多いです。それで満足頂くお客様も多いですが、同じ色ばかりになり意外性を求める方もいらっしやいます。そういった時により、学んだ知識が役立つと感じています。今、パーソナルカラーが主流になり、この色にはこの色と固定化されています。その

為、私にはこの色しか合わないと考えるお客様も多く、この色のリップは持ってるから要らないなどと購入されないこともあります。そういった中で、その色ではなくほかの似合う色をご提案すると、購入してくださいませ。そんな提案ができるのも、色の授業で学んだ知識が根底にあるからだと思います。様々な色の組み合わせを学んだからこそ、購入率を上げることが出来ています。また、プレゼンテーション論や衣装デザインの授業では、自分の考えを言葉に出して伝える練習を何度も行いました。その為、なぜこの色を提案するのか、この色を付けたらどう見えるのか、このメイクはどのシーンに合うのかなど、お客様にこの商品を使えば、どうプラスになることを理解いただき、販売数を上げることができました。そのお蔭で、昨年のカウンター内年間売上1位になれました。授業で、何度も言葉にし、伝え、分かってもらえなければ、伝わるよう考え、それを伝えるの反復が学生時代はとても辛かったです、今の販売業に生きています。

・今後必要だと思われる授業

プレゼンテーション論

先程も述べたように、言葉で伝えることを授業として学ぶのが必要だと考えます。授業として、必ずしなければならぬ状況でない限り、しっかり自分の考えや言葉を考えて伝えることは避けてしまいやすいです。その為、上手く言葉を伝えられずトラブルになることは、私生活でも職場でも起こります。社会人として生きていく力にこの授業はなると思います。1つの課題を何度も発表する為、もっとこうすればなど改善しながら作り上げることができ、その反復が訓練になっていたなど、就職して感じています。どんな職種についても言葉で伝えることは避けることが不可能であり、今AIなどの技術発展やチャット対応の展開の中で、より人とのつながり、対面して話すことが大切になると感じています。そのような中で、言葉で伝えるこの授業を学ぶことは必要と考えます。

⑨ *役立つ授業と内容

ドロ잉 → 人体について知るのには人体に着せる服を学ぶ場所にとって必要だと思った

*授業科目の内容として不足していて具体的に授業を受けたかった科目や授業内容についての意見

データサイエンス → ふわっとした内容過ぎて受講の意味を感じなかった

*今後必要と思われる授業名と内容

・ラグジュアリーブランド基礎

・ファッション誌論

→先生世代にとっては知っていて当たり前と言われる基本的なブランドの知識が欠如している生徒がほとんどの為。今のファッションのオマージュ元が分からない人も多いと思います。

⑩*役立つ授業と内容

プレゼンテーション技法

自分の長所や失敗など色々なテーマで3分間話す練習をした。同じ内容でも繰り返し行うことで内容を暗記し、前を見て話すことの練習になった。

作品をプレゼンする際に、何を伝えたいのか、どんな順番がいいのかなど、人にわかりやすく伝えることを学ぶことができた。この授業で学んだことは卒業制作・就活の面接以外にも、今の職種で企業説明会を行うときにも役に立っている。

*今後必要と思われる授業名と内容

ドローイング

テーマが発表され、書き方だけでなく、例まで見せていただいていたので、完成品をしっかりとイメージしてから作品を作ることができていた。影のつけ方や奥行き書き方、人体の書き方など、モノや人の構造を理解できるようになる授業だった。作品提出後もどうすればもっと良くなるかを具体的に指示していただいた。

自分の頭の中になるものをササッと絵にかいて第三者に伝えることができるようになるため今後必要だと思う。

*授業科目の内容として不足していて具体的に授業を受けたかった科目や授業内容についての意見

写真表現

コロナの影響もあるのかもしれないが、カメラのことは卒業してからもよくわかっていない。「できるだけ一眼レフを使ってください」と指示があったため高い買い物でしたが、それに見合う授業だったとは思えない。ひたすらテーマを出されて写真を提出するだけでは何もわからなかった。だが、その後も作品を撮影するのに一眼を使うことが多いため、しっかり理解しておく必要があると思う。

⑪*役立った授業と内容

■文章表現(1年次)

情報の判断の仕方や、冷静な批判的視点の持ち方を、実際に毎回の授業での新聞記事を読むこと、文章提出で身に付けることが出来た。

■キャリアプランニング(1年次)

2年次にリモート体制で行われた渡邊先生の授業。完全に社会に出る前の大学生という時分で、キャリアとは何だ、と思い、しっかりノートを取っていた。ノートが手元に残っている。どういった人材が求められているのか、といったことから、どういったことが“今”“この先”“ポストコロナ”の時代で求められるのか、という内容もあったように思う。キャリアはセイリングのようである、という内容が印象的であった。

■表現心理学(2年次)

アサーティブなコミュニケーションの仕方について学ぶことが出来た。人と人に関わっていく中で、とても重要な、思いやりのあるコミュニケーション方法であると感じた。

■アパレル素材論(2年次)

素材に関する基礎的な知識や素材ごとの特性への理解があったことで、アパレル商品のサンプル管理を行う業務で役に立った。学習当時は素材名や特性について完璧に覚えられなくても、授業で学んだことで足掛かりができ、実際に商品を扱う際により理解が深められた。

■映像・メディア表現(2年次 選択)

映像編集ソフトの基本的な扱い方、テーマに沿った課題作品制作で、映像という媒体での表現方法や特性を理解することが出来た。

*授業科目の内容として不足していて具体的に授業を受けたかった科目や授業内容についての意見

■学芸員過程の履修に関して

現在の履修では改善されているかもしれないが、入学当時、表現学科に関しては時間割の都合上1年次しか受講できなかった点。

*今後必要と思われる授業名と内容

■リテラシー、人権、などに関する授業

服飾表現学科では、メディア作品を制作する人も多いかと思う。私は、何が差別になるのか、わからずに作品を制作しているような人が社会に思ったよりも多くいると感じた。(最近の事例で言うと Mrs. Green Apple のミュージックビデオによる、人種差別的ニュアンスを含んだ表現など。)

差別の意図や悪意のある/なし以前に、どういう差別があるのか、等を知っていれば、差別的な表現の作品を世に出してしまう事故が防げるのではないかと考える。また、組織の中の誰かが意識を持てば、企画段階でストップをかけることができるはずだ。

また、近年では、ドラマ等の映像表現作品の撮影現場で、俳優の心を守るインティマシー・コーディネーターの需要が増えていると聞く。表現の現場では、多くの人間が関わって一つのモノを作り上げる。誰か1人に心理的なしわ寄せがいかない現場が求められるように思う。

■学び続ける姿勢に関しての授業

個人的な話だが、先日まで勤めていた上記の会社で、杉野のビジネス科卒業生という上司がおり、かなりリテラシーの無い人であった。

多くの啓発本が販売されているように、自主的に学ぶことが可能なことであると考えられる。経営や人材教育をうまく行う会社であれば、そこで社員に学習の機会が与えられるかもしれない。勤めていた会社も、以前は外部によるキャリア教育のサービスを契約していたようである。しかし、近年経営悪化のコストカットのため解約した、ということであった。また、会社でWWDを購読していたが、実際に手に取って読んでいる社員を見かけることはそうなかった。

そういった、アクセスできるはずの情報にアクセスしない、また、情報を与えられないからわからないまま、というような態度の社員が何名もいた。

常に学び続ける姿勢を持たないと、変化の多いアパレル業界では厳しいはずだ。

何か特定の知識を、ということも重要ではあるが、変化し続ける社会を前提に、自主的に学び続ける態度を身に付ける必要があるように感じる。

■世界情勢について

ファッション／アパレルは平和産業である。私は、上記の会社に勤めた中で、会社の経営悪化や、大量の商品サンプルを管理・廃棄していく中で、アパレル業界にこの先長く関わっていくことが難しいと感じるようになり、現在キャリアチェンジを考えている。平和産業であるファッション／アパレル業界に人材を送り出す学校であるのならば、ファッショ

ン業界が持続できるような平和な社会であるためにはどうしたらよいか、ということ学ぶ必要があるのではないかと思います。

3. 教育課程の編成と教育方法について

*教養科目の編成について

*専門科目の編成について

*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）

*その他の指摘、改善点

① *教養科目の編成について

特に不満なく受講していました。

*専門科目の編成について

特に不満なく受講していました。

他コースの科目（私自身としては、インダストリアルパターンのグレーディング等の CAD の科目）をもう少し取っておけば良かったと思いました。

将来やりたいことが決まっている学生は、しっかり情報を集めて、他コースの科目でも自分の学びたい科目を取れたら良いと思います。

*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）

フォトショ、イラレなどのデジタルを強化して使えると良いかもと思いました。

② *教養科目の編成について

特に無し

*専門科目の編成について

特に無し

*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）

特に無し

*その他の指摘、改善点

グループでのディスカッションや前に出て発表する機会を増やすなど話を聞くだけの授業ではなくもっとアクティブに参加できる形式になるとより良い。

③ *教養科目の編成について

一年次と二年次のどちらでも選択できる科目があるのは時間割を組みやすく良いと思います。

*専門科目の編成について

一年次に基礎的な専門科目を履修した上で二年次から専門コースに分かれるという構成は、学びながら行きたいコースを選べるという点や、所属コース以外の分野の基礎知識も得られるので良いと思いました。

*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）

他のコースの必修科目でも興味を持った場合に選択科目として履修できたら良いと思いました。

ファッションビジネス系や服飾表現学科は一年次に実習の授業でつまずいてしまう学生に配慮して、もう少し実習系の必修科目を減らしても良いのではないかと思います。

*その他の指摘、改善点

他大学の人から聞いた話で、学生によるアンケート調査で先生の評価が悪いと先生に対する講習が行われるというものがあり、自分の大学もそのような制度があれば良いなど在学中に思いました。また、授業のアンケートを口コミのように次年度の後輩が見られたら良いと思いました。

④ *改善に向けての提言（科目の過不足を含む）

語学に力を入れたかったです。

*その他の指摘、改善点

教養科目、専門科目どちらももう少し Word、Excel を使う授業を増やしてほしいです。大学時代、あまり使っていた記憶がないのですが会社では使うことが多いです。

⑤ *教養科目の編成について

服の基礎を学べてとても面白く、興味深かった。

授業の一環としてももう少し様々な場所へのリサーチなどできる時間が欲しかったです。

1～2年生で基礎を学べるのはよかったが、3年からのコース選択に関して

1～2年時に気になるコースの授業を体験できる「お試し期間」みたいなものがあつたらよりよかったです。

*専門科目の編成について

特にございません。

*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）

*その他の指摘、改善点

日野キャンパスでの授業がとても楽しく魅力的だったのですが、遠すぎて毎週通うのが大変でした。

同級生の中にも「先端コース気になるけど日野が遠い…」と違うコースを選択した友人もおり、せっかくい授業なのに勿体無いなと感じました。

⑥ *教養科目の編成について

もっと語学講師の質を高めた方が良い

*専門科目の編成について

1年次の服飾造形基礎の教え方が少々分かりづらかった

*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）

造形系の授業が基本的に裁縫ができる生徒たちに合わせているような節があるため、苦手な生徒たちにもっと寄り添った授業を行った方が良いと思う。

⑦ *教養科目の編成について

問題ないかと考えます。

*専門科目の編成について

イノベーションコースでは、情報をインプットする授業がかなり多く（勉強になる知識もあつたが）

アウトプット（自身で何か行動する）授業をもう少し多くしても良いかと感じました。

*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）

・流通イノベーションコースの2年次に行われるプレゼミ(イノベーション)内の SNS 運用 (Instagram/TikTok)のスキルはアパレル業界で働く上で必要になるかと思うが、「note」の運用は

必要ないと感じます。(ブログ投稿を行うことがほぼないため)

・「グローバルマネジメント特論Ⅰ」の科目では自身が履修したい際は、授業内の情報が若干古く感じました。ビジネス系の必修科目である理由がイマイチ理解できないような授業内容でした。

*その他の指摘、改善点

流通イノベーションコースでは、自ら情報を発信することが多い職種を希望している人が多いかと思ひ、「発信する」という視点では多くの授業を行っていると思ひます。

しかしながら、発信する内容のクオリティを求めることが無く、高いクオリティのもの(時代に合っているもの)を発信できる感性や知識をより学ぶことができる授業があっても良いかと思ひます。

⑧大学の授業編成についての不満点はありませんが、ヘアメイクについて学ぶ機会があればと感じていました。

卒業制作の撮影において、必ずヘアメイクを行います。作品を活かすヘアメイクは難しく、損なわない程度にするにとどまり、勿体なく思ひます。私生活でメイクをしない生徒は、とても大変そうでした。その為、少しでも学ぶことが出来れば、卒業制作をより自分の考えを表現した作品にできると考えます。

⑨ *教養科目の編成について→英語科目の教科書の内容が服飾に準じて良い

*専門科目の編成について→服飾表現学科もファッション画は必履修にした方が良い

*改善に向けての提言(科目の過不足を含む)→無し

*その他の指摘、改善点→無し

⑩*教養科目の編成について

特に問題なかった。

*専門科目の編成について

幅広く選べてよかったと思ひ

*改善に向けての提言(科目の過不足を含む)

データサイエンスなどなぜ受けているのかわからない授業があった。選択科目ならよかったかもしれないが、必修だったため時間の無駄に感じた。これからグローバル化が進んでいくため、英会話等の外国語を「話す」授業がもっとあればいいと思ひた。

*その他の指摘、改善点

特になし。

⑪*教養科目の編成について

バランスのよい編成のように思ひ。

*専門科目の編成について

とくになし。

*改善に向けての提言(科目の過不足を含む)

とくになし。

*その他の指摘、改善点

授業を持っている講師の中には、その人個人の意見として、差別的な発言(トランスヘイト的な内容であった)をする人もいた。当人にとっては、「この場には居ないから言っても問題

ではないだろう」という意識があったかもしれないが、その場に当事者が居るか居ないかなど誰にもわからない。どういう立場の人であっても、差別発言はしてはいけないと考える。悪意のある発言を避けること、また、悪意のない無思慮な差別発言をしていないか、授業アンケート等で確認する必要があると考える。

4. 入学者受け入れについて

***今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか**

***そのための方策案があればご助言ください。**

①***今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか**

自分の好きなことがある人。好奇心を持ち、探究できる人。

***そのための方策案があればご助言ください。**

杉野の学生は自分の”好き”が明確にある人がほとんどだと思います。自分もぼんやりでしたが好きなものがあり、学生時代はその好きをより鮮明に、深いものにする時間でもありました。

服作りに関するだけでなく、自身のアイデンティティは制作など、何事にも生きてくると思うので、広く人それぞれの個性を受け入れてくれる学校だと素敵です！

②***今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか**

主体的に動ける人材、指示を待つのではなく今自分に何ができるのかを常に考え行動に移せる人材。

***そのための方策案があればご助言ください。**

面接などでその部分を注視する。

③***今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか**

就職をしてからアパレル業界はIT分野に弱いと感じました。生産をシステムで管理したり商品画像を合成して作ったりと、アパレル業界でもIT技術を使う場面は多々あるため、アパレルの知識に加えてITスキルのある人材は需要があると思いました。また、ものづくりをする人は向上心や忍耐力が必要だと思いました。

***そのための方策案があればご助言ください。**

ファッションが好きな人は多くいますが、それだけでは諦めてしまう人も多いと感じます。着ること以外にも関心を持ち、スキルや知識を高められるような人がアパレル業界で(製作者として)活躍できるのではと思います。

④ 私はアパレル業界ではないのですが、諦めず、最後まで作品を作りきることができる人、また、こだわりの強い人がデザイナーには多いですし、向いていると思います。

あとは、色々な場所で色々なことを吸収できる人です。研修や勉強会、展示会など多いのでそういう場で何か一つでも持って帰ろうとする人が向いていると思います。

⑤ ***今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか**

周りの意見を取り入れたり、周りとの協調できる方。ファッション系の4大はあまりなく、「ファッションが好き」「なんかおしゃれで楽しそう」というイメージだけで入学すると思いの外、授業も課題も大変で、時間やお金のかかるものが多く、当初イメージしていた憧れの大学生活とはほど遠く、大変だった思い出です。そのギャップのせいか、一緒に入学した友人も思い出せるだ

けでも 10 人以上は退学してしまった記憶があります。憧れだけではなく、しっかり自分のビジョンを明確に持ち、生徒、先生問わず周りとのコミュニケーションが円滑に取れる方でないとなかなか難しいのかなという印象です。

*そのための方策案があればご助言ください。

授業や課題で忙しかった学生生活の中でも私が 4 年間続けられたのは、周りの友人や先生方の支えが大きかったです。1~2 年時もクラスで動くのではなく、違うクラスの方とももっと交流できる授業やコミュニティがあったらよかったです。また、先生方との交流ももっと欲しいです。私の所属していたファッションプロダクトデザインコースでは、先生と生徒たちのコミュニケーションが多く、クリスマスなどにはちょっとしたイベントを用意してくださったり、クラスみんなでピザパーティをしたり、先生のお人柄もあり本当に仲の良いクラスで、毎日学校に来るのが楽しみでした。大変な時に助けてくれる人や環境は作っていただけたら嬉しいです。

⑥ *今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

論理的な思考ができるような人材が必要

*そのための方策案があればご助言ください。

ロジカルシンキングを身につけさせる

⑦自身の感性も重要だが、時代に取り残されず流行に敏感で、すぐにインプット・アウトプットが行える人。

*そのための方策案があればご助言ください。

どのコースも全体的に授業の内容が若干古いように感じ、高校生にアピールすることが難しく感じる為、授業内容や広報活動を時代のあった内容に変更する

⑧以降 4.5 の項目については、私だけでは考えがまとまらない為、長くアパレルブランドで勤務されていた上司や百貨店の化粧品ファッション部門担当の方々の意見や考えを組み込んでおります。

今後のアパレル業界に必要となる人材は、ヒューマンニーズを理解し、顧客様への提案力や○○だからあなたに似合うと伝えられるコミュニケーション能力のある人材。

そして、柔軟に受け入れることのできる人。今までの価値観を壊し、1 からスタートし、その新たな考えや知識と今までの知識をプラスして、より良い考えが出来、それをアウトプットできる。固定概念に囚われない人材が必要である。

⑨ *今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

→自己発信が出来る人

*そのための方策案があればご助言ください。

→SNS の活動の有無を問う

⑩好奇心・向上心の高い素直な人材。

*そのための方策案があればご助言ください。

SNS などを活用して、人財を獲得する。

⑪*今後のアパレル業界の人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

常に社会に目を向ける人。

*そのための方策案があればご助言ください。

洋服をつくる、という技術が大事なのももちろんだが、専門学校ではなく、大学という教育機関でアパレル業界の人材を育てるのであれば、社会に目を向ける、アンテナを貼ることが出来る人を受け入れるべきだと考える。そのためには、2. で述べたような社会問題を学ぶことが出来るという点、学び続ける人材を育てられる、という点をアピールするべきと考える。

5. コロナ禍を受けて今後の人材に必要なこと

* どのようなスキルが今後必要になるとお考えか

① * どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか

項目2の[コロナ禍の影響で必要な授業]と重なりますが、服作りの技術だけでなく、3DCGやカメラ、特にPhotoshop、illustrationなどのスキルは絶対に使えたほうが良いと思います。

製品を作って売る、自分の仕事をアピールするにしても、instagramやECサイトを作ることが必須になっています。(フリーランスで仕事をしている人は、instagramで見つけてもらって仕事に来ることが一般的だといいます)

LIMI feuでは、パタンナー、小物、営業の若手3人がinstagramを運営しています。そう言った時に、

これらのスキルがあるととても重宝されます。

② * どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか

服を作る人材なら独自のセンスとトレンドをうまく落とし込んで表現することができるスキル
服を消費者に販売する人材なら実店舗で買うことのメリットと消費者のニーズを理解し提案できるスキルが必要だと思う。

③ コロナ禍でECの普及などアパレル業界にも影響を及ぼし、今後もECの利用率やSNSによる消費者の購買行動への影響は益々増大していくと思います。また近年急速に発達し活用されるようになった生成AIは、今後アパレル業界でも活用されていくと思います。生成AIはしばしば倫理観について問われることがあります。ファッション分野においても、多様な表現ができるようになった現代で必要な課題だと思います。ITスキルやSNSの適切な活用法に加え、AIを活用する上で著作権や人権侵害などのリスクに関する知識を身に付けることが大切だと思います。

④ コロナが明け、海外に行ける様になりました。展示会があったり、私の会社は海外の取引先があり、輸出もしているので海外に行けるチャンスも回って来やすいです。そこで語学がやはり大事だと感じました。

また、カーテンだと施工写真をAIの技術で作ることもあります。

⑤ 上記でも記載させていただいたようなパソコンスキルは必須かと思います。

⑥ ある程度のコミュニケーション能力を備えた人材が必要。杉野はコミュニケーション能力が不足している学生が多いと感じるため、尚更そう思う。

AIの発達や導入により、人手不足が改善されると思う。

* どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか

アパレルに関しての基本的な知識は勿論、基本的なPCスキルも必要になってくると思う。

⑦ ビジネス系では、SNS運用スキルはマストで必要になると考えます。

(ただ投稿を行うだけではなく、振り返り・分析を行うところまで)

また、Google アナリティクス等の分析ツールを活用できる人材は企業に求められると感じます。
⑧コロナ禍でネガティブな思考になりがちだったこともあり店舗は行かず、オンラインで購入する機会も多くなりましたが、最近ではお客様が店舗へご来店も増えてきたように思います。店員と会話しながら買い物をする楽しさを思い出してきているように感じます。ただ商品を購入するだけでは、オンラインと同じだと接客アンケートにもありました。せつかく来店していただくのであれば、購入だけではなく、笑顔でお帰り頂ける付加価値を提案することだと思います。その為には、やはりコミュニケーション能力は不可欠だと思います。知識よりも人に興味を持つことが、今必要なことのように感じます。

また、AI のアパレルでの活用については、カラー診断や骨格診断などの技術は組み込みやすいと思います。最近では、その診断に準じて購入する人も多いですし、それらを診断してみたいと来店数を上げることもできると思います。人に診断してもらう方法もありますが、恥ずかしがる方も多いため AI が行うことのニーズは多いのではないのでしょうか。それを来店動機に、購入率を上げることも可能だと思います。上記を行う上でとても大切になるのは、プロフェッショナルであることです。他に来店動機があったとしても、わざわざお店に足を運び、購入することの意義は、プロフェッショナルな人の元で買いたいという考えが根底にあるからだと思います。その為、プロフェッショナルになるという意欲のあるものが必要な人材なのではないのでしょうか。

⑨積極的に行動出来る人

⑩英語を話す能力。センスなどは現在のカリキュラムでも本人次第で十分身につくと思う。英会話ができるようになると海外に目を向けたり、日本では得ることのできない知識やスキルが手に入るのではないかと思うため今後の人材に必要なことだと考える。AI は人に代わるため、店舗スタッフの存在が少なくなり、よりコミュニケーション能力の重要性が高まると思う。

⑪*どのような知識やスキルが今後必要になるとお考えですか

- ・ 人対人のコミュニケーションスキル、思いやり
- ・ 3Dモデリングソフト等の基礎的な使い方
- ・ 著作権等に関する理解

6. その他

① 入社間もない頃、上司から「新人の中では縫いがとても綺麗」と褒めていただいたことがあります。授業中、先生や助手の先生方が一つ一つの工程を丁寧に見て指導して下さったおかげだと思っています。

他学校の話を知ると、杉野は学生時代に作るアイテム数は少ないのかなと感じるのですが、その分一人ひとりをともしっかり見て貰っていたことを実感しました。

②なし

③私の代はコロナ禍での就職で、アパレル業界に行けなかった人や諦めてしまった人が周りに多く、非常に残念に思いました。私は中途採用の募集で希望職に就くことがき、このようなケースは稀かもしれませんが、後輩たちにはぜひ諦めずに行きたい道を目指してほしいと思います。

④貴重な機会を頂き、ありがとうございました。

杉野での学びが役に立っていること、とても多いです。

⑤今は新しい校舎ができたりと少しずつ環境も変化しているかと思いますが移動教室時の距離や階段が長く、大量の荷物を持つての移動が毎回大変でした。もう少しロッカールームから教室への導線が良くなったり、教室近くに仮置きできるスペースがあったらよかったです。」

⑥なし

⑦なし

⑧なし

⑨なし

⑩なし

⑪なし